

# 要約の特訓 上

- ・ 楽しく文章を書こう・
- ・ 文章の読解と要約の特訓・

難易度	1	2	3	4	5	受験	難
	←————→						

## も く じ

「要約の特訓 上」について……………	2
このテキストの使い方……………	3
問題一……………	4
テスト一……………	16
問題二……………	20
テスト二……………	32
問題三……………	36
テスト三……………	48

(解答のページは、各問題のページに記してあります)

## 「要約の特訓 上」について

このテキストは、文の要旨を正確につかみ、文を短く要約する練習をするものです。文の要旨を正確につかむということは、高い読解力を持つということに他なりません。読解力は、すなわち国語力そのものですので、このテキストは、高い国語力をつけるための直接的な効果が期待できるものです。

小学生に対して、文（文章）を書かせる勉強には、この「要約」の他に「作文」、「読書感想文」などがあります。「作文」はいわば「随筆文」です。「読書感想文」はいわば「書評」です。「随筆文」や「書評」などを書くには、高い創造力と批評力が必要となり、「随筆文」や「書評」は大人でも書くのが難しい文章です。ですから一般的な小学生や中学生ぐらゐの子どもに「作文（随筆）」や「読書感想文（書評）」を書かせることは、仮にきちんと文章を書く指導をしたとしても、かなり困難な作業です。ましてや、書く指導をしないまま、「思ったまま書いてみましょう」「感じたことをそのまま書きましょう」程度の指導で、「作文」や「読書感想文」を書かせることは、子どもを「書く」ことから遠ざけ、嫌いにする要因の一つになっていると思われれます。

小学生に対して「書く」指導を行う場合は、まずは「要約」（あるいは「あらすじ」）から入るのが、子どもにとって負担が少なく、取り組みやすいので、たいへん良いのです。作文や感想文嫌いの子どもでも、比較的容易に、楽しく文章を書く練習ができるように、そして、国語力が向上することを願って、このテキストは作成されています。



問題一、後の□に合うようにヒントにしたがって、次の各文から大切な部分を短くさがし、ぬき書きしましょう。

例、昨日はとても良い天気だったので、ぼくは大川の河原を二時間ほどサイクリングした。

昨日	いつ？	ぼく	だれが？	河原	どこを？
、		は		を	

サイクリング	なにをした？	した	
した		た	

1、明るい太郎は、元気にあいさつする。

明るい	だれが？	は		元気	どうする？
太郎				に	
は				を	

2、遠足で行った桜が丘の景色を、私は決して忘れないでしよう。

遠足	どこの？	の	なにを？
で行			
った		を	

景色	だれが？	は	どうする？
を			
、			

(解答は10ページ)

